

場所	時間
堂成集会所前	9:00~9:30
少年自然の家	9:50~10:20
程野バス停	10:30~11:00
窪田正明さん宅前	11:10~11:30
清水産業事務所前	13:00~13:30
山下基義さん宅下	13:40~14:00
小六バス停	14:20~15:00

7月2日(金)

場所	時間
日浦バス車庫	10:00~10:30
市仲バス停前	10:40~11:00
中西バス停前	11:20~11:50
消防分遣所横	13:10~13:30
あたらしや商店横	13:40~14:00
大谷口バス停横	14:10~14:40
内田儀高さん宅横	14:50~15:20
法橋信一さん宅上	15:30~16:00

7月1日(木)

一般住民結核健康診断日程表

場所	時間
藤原陸雄さん宅上	9:30~10:00
石川磯太郎さん宅横	10:10~10:40
長井宗市さん宅横	11:00~11:30
石川芳永さん宅前	13:10~13:30
中山商店横	13:40~14:10
脇芳清さん宅下	14:30~15:00

7月16日(金)

場所	時間
西山之高さん宅横	10:00~10:30
上山簡易郵便局前	10:50~11:20
齊藤光雄さん宅下	11:40~12:00
寺内小学校	13:20~13:50
吉川商店上	14:00~14:20
大石商店横	14:40~15:10
藤田組前場	15:30~15:50
役場	16:00~16:30

7月15日(木)

結核健康診断のお知らせ

保健婦だより

昭和五十七年度前期の結核検診を別表の日程で行いますので、近くの検診場所へ検診を受けてください。昭和五十五年の結核による死亡者は全国で六四二九名もあり、死亡原因別による順位は十三位になってい

ます。また年間の患者発生数は七〇九一六名です。新宮村でも三名が新たに登録され、現在の患者数は治療中の者が一二名います。最低年一回は結核検診を受けるようにしましょう。

命を救う!!

水シーズンにそなえて

消防本部では、人工呼吸等の応急処置についての救急講習の希望グループを受け付けていますので、ご連絡くださいれば職員が出席し協力いたします。

○連絡先
宇摩地区広域市町村圏組

サマージャンボくじ

七月中旬から予約受付

七月中旬から新しい魅力の加わった新タイプ「サマージャンボくじ」(別称「市町村振興宝くじ」)の受け付けが開始されます。住みよ

い、私たちの街づくりに役立ちます。申込方法等詳細については、七月十五日(木)の新聞紙上に発表されます。

川之江市					伊予三島市				
⅞	⅘	⅖	⅗	⅙	⅞	⅘	⅖	⅗	⅙
長谷川病院	豊永医院	小笠原外科	川関高橋医院	石川病院	川崎産婦人科	武村外科	井上医院	横内外科	井上整形外科

休日当番表

愛媛県警察官 警察事務職員 “募集”

愛媛県警察では、警察官(大学卒)と警察事務職員(上級)を募集しています。若いあなたの能力を発揮してみませんか。

〔受験資格〕
◎警察官(大学卒)
昭和三十年四月二日から昭和三十六年四月一日までに生まれた男子で、四年制大学卒業者または、昭和五十八年三月卒業見込みの者。
◎警察事務職員(上級)
昭和二十八年四月二日から、昭和三十六年四月一日までに生まれた者(学歴は問いません)。

※問い合わせ先
三島警察署または新宮駐在所まで。

村出身の世界的学者

真鍋淑郎博士 記念講演



ふるさとに帰り小中学生を激励

新宮村の出身で、現在アメリカ合衆国に在住する世界的気象学者の真鍋淑郎博士が、東京での国際会議や京都大学での講演の後、四年ぶりに郷土新宮村に帰郷されました。

博士は、アメリカ合衆国海洋気象研究所に研究員として籍をおくほか、有名なプリンストン大学の客員教授を務めるなど、学界の第一線で活躍されています。

このたびの帰郷にあたり「この山村に生まれながら世界的な学問の道に成功した博士の生い立ちや、現在に至るまでの努力を中心に、今の子どもたちに励みを与える講演を」ということで、村の教育委員であつて、博士とは小学校時代の級友でもある真鍋潔さん(宮川東)

の依頼に博士も心よく応えられ、小学校六年生と中学生を対象とした帰郷記念講演が実現しました。

五月二十八日、母校の新宮小学校を訪れた後、中央公民館で午後三時から『私の生い立ちそして世界と日本』という演題で一時間にわたる講演となりました。

その中で博士は「外国人に比べて、日本人に欠けているのは表現力です。自分の表現力を養うことが、これからは大事です。しっかりと勉強してください」と国際的な感覚で子どもたちに語りかけるとともに「苦闘こそ人生を切り開く道だ」と、世界的な位置にまで到達した自らの人生体験をもとに熱意をこめて話されました。

以下、講演のあと博士に

米国
プリンストン
←
新宮

に対する質問を少し紹介します。

質 東京大学を出て、なぜアメリカ合衆国へ渡ったのですか。

博士 戦後、私の研究成果を活かす就職先が日本にはなかった。しかし、アメリカ合衆国では思う存分の研究ができて、もう一年、もう一年という間に現在に至りました。

質 アメリカ人は、日本文化についてどういう意識を持っていますか。

博士 日本経済の発展に伴い日本文化への関心も深まり、日本語の勉強をする人も増えていきます。私の娘も今、日本語を勉強しています。

質 アメリカ合衆国での生活が長いですが、ふるさと

に対してはどう思われますか。

博士 戦後間もないころと比べますと、日本経済の発展に伴い新宮村の発展にも目を見張られます。新宮村をこれまでに発展させた村民の心意気が感じられますし、歴代村長の功績が伺えます。また、昔と変わらぬ良い環境で、すばらしく思います。

真鍋 淑郎博士 経歴

昭和六年九月二十一日、新宮村大字新宮医師真鍋精一氏の四男として生まれる。新宮小学校、旧制三島中学を経て昭和二十八年東京大学理学部卒業。昭和三十三年東京大学大学院卒業と同時に理学博士の学位を取得。学位取得後ただちに渡米。

現在は、アメリカ合衆国海洋気象局研究所研究員であり、プリンストン大学客員教授を務める。専攻研究科目は「大型コンピュータ」を駆使した気候学の研究。